

新規事業採択時評価結果（平成15年度新規事業化箇所）

事業名 筑後バイパス（一般国道442号）	事業区分 一般国道	事業主体 福岡県
起終点 自：福岡県筑後市大字久富 至：福岡県三潴郡大木町大字福土		延長 2.8 km

事業概要
 一般国道442号は、大分県大分市を起点とし、福岡県大川市に至る延長約150kmの幹線道路である。
 筑後バイパスは、筑後市、大木町の交通混雑を解消し、円滑な交通確保を目的とした、延長2.8kmの4車線道路である。

事業の目的、必要性 筑後バイパスは、交通渋滞が日頃慢性化している区間であり、円滑な交通確保を目的としたもので、道路の利便性を向上させるため事業化するものである。また、両サイドの区間については、大木大川バイパス、八女筑後バイパスとすでに事業着手しており、バイパス全線の事業効果を発揮させるためにも事業化を図る必要がある。

全体事業費	30億円	計画交通量	17,700台/日
費用便益比 B/C	4.8	総費用	総便益
		32億円 事業費：27億円 維持管理費：5億円	154億円 走行時間短縮便益：133億円 走行費用減少便益：14億円 交通事故減少便益：7億円
			基準年 平成15年

- 事業の効果等**
- ・物流効率化の支援（佐賀空港へのアクセスが改善される。）
 - ・地域づくりの支援（大型車のすれ違い困難箇所の解消）、隣接市町村間のアクセス向上
 - ・道路の防災対策・危機管理の充実（緊急輸送道路ネットワーク計画、防災点検箇所位置づけられている。）など、5項目に該当

関係する地方公共団体等の意見 本区間は、交通混雑の慢性化により円滑な交通確保がなされていないため、大川市長（3市1町）から構成する国道442号バイパス道路新設促進期成会（H14年10月21日）から要望を受けている。

